

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 26 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2012～2014

課題番号：24320134

研究課題名(和文) 藩政文書の記録管理システムに関する基盤的研究

研究課題名(英文) Basic research on record management system of Han (Domain) administration documents in the Edo period

研究代表者

大友 一雄 (Otomo, Kazuo)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：30169007

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 10,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、近世日本の松代藩を事例として、職制ごとの文書管理システムがどのようなものであったか、幕政と藩政、藩庁外の役所と藩内の記録管理システムの関係性、藩主文書と藩庁文書との関係性、史料群構造と組織機能についてを検討した。本研究によって藩内における文書・記録の作成・授受・管理の具体相が明らかとなり、各部局を文書・記録を介した有機的なつながりを明らかにすることができた。社会的還元として松代藩の記録をインターネット公開した。

研究成果の概要(英文)：This research focused on Matsushiro-han(domain) in pre-modern Japan as a case study, and pursued (1) revealing the documentation management system of each position in han(domain) office organization, (2) relationship between bakufu (shogunate) governance and han (domain) governance as well as branch offices of han and record keeping system of han-cho (the main office of han), (3) relationship between hanshu (federal lord) documents and han-cho documents, and (4) structure of archival materials and organizational functions.

As results of this research, specific aspects of creation, transaction, and administration of documents within han were clarified. Coordinated connection among each office through documents and records was also elucidated. To return the fruits to society, we published "the archives of Matsushiro-han" on the Internet.

研究分野：アーカイブズ学

キーワード：アーカイブズ学 日本近世史 松代藩 記録管理 真田家

1. 研究開始当初の背景

記録管理の歴史については、様々な地域・団体を対象として研究が進みつつあるが、近年、近世藩政文書に関する個別研究が増している。藩政運営は慣例や先例に基づきつつ、その時代に即応した取り組みが求められ、藩研究は「藩社会」・「藩世界」・「藩地域」などの新たな研究視角が提案されるが、これまで記録管理やその歴史に関する研究は見られない。近世において記録システムは合意形成（意思決定）・情報伝達・集合記憶などに欠かせぬ存在であり、その研究が藩研究や藩政史研究に極めて重要となることはいうまでもなく、記録管理システムの解明には、記録を発生・管理した藩の組織機構の検討が必要である。

2. 研究の目的

(1) 藩内の職制ごとの文書管理システムがどのようなものであったか。近世中後期、藩政の円滑な運営には、適切な記録管理が不可欠であることが明らかにされてきているが、組織全体の具体的な記録管理システムは史料制約などから不明な点が多い。

(2) 幕政と藩内、藩庁外の役所と藩内の記録管理システムの関係性。記録・文書が組織間での情報伝達に主に利用されたことを考えれば分析が藩内部に止まることはできない。諸関係の組織構造と機能を分析し、活動を担保した記録管理システムに迫る。

(3) 藩主・藩侯文書と藩庁文書との関係である。藩主・藩侯文書と藩庁文書では保存管理を異にし、そのことが近代以降の藩主・藩侯文書と藩庁文書に対する認識や取り扱いの違いとしても現れ、伝来を規定する。両者についての記録管理に関する研究は、大名の家と藩の研究にも貢献できる。

(4) アーカイブズ学において提案が見られる史料群構造と組織機能について検討。従来アーカイブズ学では史料群構造を団体の組織構造との関連で捉える考え方が一般的

であったが、近年、組織の機能構造から史料群全体を捉えようとする試みが提唱されている。前近代の団体においてこのような視角から編成された検討はなく、真田家文書を事例とした機能構造体からの分析は有効であろう。

なお、これら4つの課題はそれぞれが独立した課題ではなく、藩の記録管理システムとして有機的に結びついている。

3. 研究の方法

(1) 基盤整備に関わり、分析を対象となる未整理史料の調査・目録作成を行なう。そのために文書調査整理班を組織し、真田宝物館蔵真田家文書・国文学研究資料館蔵八田家文書の目録作成を実施した。

(2) 役職毎の組織・機能を明らかにし、藩の記録管理システムを解明するため、記録管理研究班を組織した。

(3) 上記ふたつの作業の中で歴史的な保存管理のシステムを検討しつつ、現在の保管環境などの保存科学による知見から検討するため保存班を組織した。ここでは現状の劣化や保存処置にも対応した。

(4) これらの成果を広く社会に還元しつつ、情報学的観点から藩の文書管理システムを解明する方法論の模索のために「データベース作成班」を組織した。

4. 研究成果

(1) 基盤整備として後述するように松代藩産物会所取締役八田家文書の目録作成を進め、3冊の目録を刊行した(14120レコード)。

(2) 藩内外の記録・文書の作成・授受・管理システムがどのように機能しているかが明らかとなり、成果報告として7回の研究会を開催し23名の研究者に研究報告を頂いた。また、地域への還元のため最終年度に地域シンポジウム『松代藩真田家の歴史とアーカイブズ』を真田宝物館とともに開催し100余名の参加を得た。

(3)(1)の作業などによって作成した目録データを国文学研究資料館収蔵歴史アーカイブズデータベースに搭載し、一部研究で利用した画像を一般公開した。

以上の成果については平成 27 年度内にまとめ、刊行の予定である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 9 件)

西村慎太郎「甲斐国山梨郡国玉村文書目録・解題」、『人文』第 12 号、131～171 頁、2014 年、査読有

奥村弘・大国正美・西村慎太郎「シンポジウムの記録 東海大地震からアーカイブズをどう守るべきか 震災への保存と地域連携を考える(2)討論編」、『名古屋大学大学文書資料室紀要』第 22 号、177～201 頁、2014 年、査読無

大友一雄「徳川実紀」と將軍の歴史記録」、『東アジアの歴史記録と古文書』、韓国古文書学会、27～51 頁、2013 年、査読無

大友一雄・筒井弥生「文部省史料館における公文書館的機能拡充構想関係文書」、『国文学研究資料館紀要アーカイブズ研究篇』第 9 号、153～205 頁、2013 年、査読有

西村慎太郎「地域歴史資料と「移動する文書たち」の問題を考える」、『人間文化研究情報資源共有化研究会報告集』第 4 号、5～21 頁、2013 年、査読無

西村慎太郎「概要調査・現状記録再考 - 民間所在資料保存のために - 」、『国文学研究資料館紀要アーカイブズ研究篇』第 9 号、69～82 頁、2013 年、査読有

西村慎太郎「民間所在資料散逸の要因」、

『名古屋大学大学文書資料室紀要』第 21 号、185～219 頁、2013 年、査読無

大友一雄「天保期における老中職公用方役人と情報管理 - 老中日記の作成と収集 - 」、『関東近世史研究論集』3(幕政・藩政)、221～247 頁、岩田書院、2012 年 11 月、査読無

西村慎太郎「文書の保存を考える」、『歴史評論』第 750 号、35～45 頁、2012 年、査読有

[学会発表](計 4 件)

西村慎太郎「真田家の食卓と料理人」、シンポジウム『松代藩真田家の歴史とアーカイブズ』、2014 年 12 月 13 日、長野市役所松代支所(長野県長野市)

西村慎太郎「松代藩御用商人八田家と幕末」、松代学講座、2014 年、3 月 29 日、松代まち歩きセンター伝承館(長野県長野市)

大友一雄「徳川実紀」と將軍の歴史記録」、韓国古文書学会国際学術会議、2013 年 12 月 20 日、ソウル(韓国)

大友一雄「幕府役職と大名・旗本」、人間文化研究機構「人間文化資源の総合的研究」研究班合同研究会、2013 年 9 月 7 日、国文学研究資料館(東京都立川市)

[図書](計 5 件)

西村慎太郎『史料目録第 101 集 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録その 8』、国文学研究資料館、全 330 頁、2015 年

大友一雄『史料目録第 99 集 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録その 7』、国文学研究資料館、全 239 頁、2014 年

大友一雄・渡辺浩一・西村慎太郎・工藤航平・加藤聖文・青木睦他『アーカイ

ブズの構造認識と編成記述』、思文閣
出版、3～11頁・99～119頁・121～
147頁・149～180頁・181～199頁・
229～257頁・345～387頁、2014年

工藤航平『史料目録第96集 信濃国埴科
郡松代伊勢町八田家文書目録その5』、
国文学研究資料館、全165頁、2012
年

山田哲好『史料目録第97集 信濃国埴科
郡松代伊勢町八田家文書目録その6』、
国文学研究資料館、全201頁、2012
年

〔産業財産権〕
出願状況（計 0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等
国文学研究資料館収蔵歴史アーカイブズデ
ータベース
・<http://base5.nijl.ac.jp/~archicol/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

大友 一雄 (Otomo Kazuo)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：30169007

(2) 研究分担者

西村 慎太郎 (Nishimura Shintaro)
国文学研究資料館・研究部・准教授
研究者番号：90383546

(3) 連携研究者

渡辺 浩一 (Watanabe Kouichi)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：00201179

古瀬 蔵 (Furuse Osamu)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：50462172

青木 睦 (Aoki Mutsumi)
国文学研究資料館・研究部・准教授
研究者番号：00260000

山田 哲好 (Yamada Tetsuyoshi)
国文学研究資料館・研究部・准教授
研究者番号：70220390

加藤 聖文 (Kato Kiyofumi)
国文学研究資料館・研究部・助教
研究者番号：70353414

工藤 航平 (Kudo Kohei)
東京都公文書館・史料編纂係・専門員
研究者番号：30599551

山本 英二 (Yamamoto Eiji)
信州大学・人文学部・教授
研究者番号：20262678

佐藤 宏之 (Sato Hiroyuki)
鹿児島大学・教育学部・准教授
研究者番号：50599339

福田 千鶴 (Fukuda Chizuru)
九州産業大学・国際文化学部・教授
研究者番号：10260001

浅倉 有子 (Asakura Yuko)
上越教育大学・大学院学校教育研究科・教
授
研究者番号：70167881

三宅 正浩 (Miyake Masahiro)
福島大学・人間発達文化学類・准教授
研究者番号：30612303